

180 日間 FIP 生体保証

猫伝染性腹膜炎 (FIP) とは

現在、猫の世界には予防法が確立されていない猫伝染性腹膜炎 (FIP) という後天性の恐ろしい病気が存在します。多くの猫が持っている猫腸コロナウイルスの突然変異により、強毒性の F I P ウイルスとなり発症するといわれています。今までは発症すると数日から数か月で 100% 死に至る病気でした。

F I P の症状

発熱、胸水や腹水、食欲減退、元気消失、目の炎症、黄疸、神経症状、下痢など、症状も多岐にわたり、PCR 検査で診断することが多いです。ただタイプによっては判断が難しく診断に時間がかかってしまいます。(治療開始は早ければ早いほど良いです) また、ステロイドやインターフェロンでの治療は延命治療であり、治ることはありません。

FIP の新しい治療薬

2019 年に米国の研究チームが抗ウイルス薬 (G S - 4 4 1 5 2 4) を発表しました。これを利用して作られた中国の未承認薬ムティアンにより、沢山の猫たちが FIP から回復しています。しかし未承認薬であるため大変高額です。取り扱っている先生は少ないですが人間のコロナウイルスの薬であるレムデシビル、モルヌピラビルも FIP に効果があります。詳しい治療薬、治療を得意とする動物病院情報については、ネコピアノにお問い合わせ下さい。

FIP 抗体価検査とは

この検査は猫コロナウイルスの抗体価を調べるもので、FIP の直接的な原因である猫伝染性腹膜炎ウイルスと病原性の低い猫腸コロナウイルスの区別はできません。したがって、この検査だけで FIP と判断することはできません。

180 日間 FIP 生体保証

プラン A (費用: 10,000 円 保証限度額: 10 万円)

プラン B (費用: 猫ちゃんの譲渡費用の 10% 保証限度額: 猫ちゃんの譲渡費用)

加入する 加入しない (プラン A ・ B)

※加入する場合はお引き渡しから 3 日以内にご連絡のうえ 3 日以内にお振込みください。

※保証期間は子猫の引き渡し日より 180 日間となります。

※発症したことがわかりましたら 2 日以内にご連絡ください。

※保証の場合 2 か所以上の動物病院 (専門病院は 1 か所で可) の獣医師による診断書等の書類をご提出下さい。病院代 (診断書作成費含む)、交通費、飼育用品等は含みません。

猫の風邪と軟便について

○子猫の風邪について

「風邪のキャリアだと生きられない」などネット上には誤った情報が多々あります。しかし、ワクチン接種をしていれば、感染したとしても軽い症状ですみます。子猫の場合、生後2か月と3か月でワクチン接種が必要なため、1回みのワクチン接種では免疫は不十分です。風邪はケアをすれば治るものです。また、生き物ですので何のウイルスもなく健康状態が全においてパーフェクトな猫は、人間と同じようにいないというようにお考えください。お世話になっている獣医師の先生によりますと、猫風邪のキャリアかどうかというのは、「多少意味合いは異なりますが、生まれてから一度もインフルエンザにかかったことがない人間かどうか、というようなレベルのものです」とのことです。

○子猫の軟便について

子猫のうちは些細なことでお腹を壊しやすいです。検便検査をして寄生虫や菌がでなくても軟便の場合は、誤飲の影響や腸が疲れていたり食べたものが合わなかった、などの理由が考えられます。猫ちゃんが元気な場合は、食事の量を調節し、腸壁を休めることができる高品質のご飯に切り替えることで落ち着きます。

通常食べているサイエンスダイエットのキトンから、赤ちゃん時代に飲んでいたペットキャビン製のイミノキャットに3日間程度切り替えることで良くなることが多いです。

(我が家ではイミノキャットを使い始めてから3年以上たちますが、それから下痢で通院したことはありません)

子猫は生まれたばかりの赤ちゃんと一緒にです。注意深く見守り、お引渡し後1ヶ月は何かしらのトラブルで病院にかかる可能性があることを覚悟しておいてください。